

# 特集

## 保育と心理学 新しい関係を目指して

保育というと、発達心理学や教育心理学、あるいは相談援助といった心理学の諸分野と密接な関わりをもっていることは自明のように思えます。実際、保育者養成校では心理学に関する科目が必修となっていますし、その知識が大切であることに異を唱える保育者はいないでしょう。また、特に子どもを対象とする心理学の研究者であれば、幼稚園や保育所などの保育実践の場でデータを収集したことがあるという人も多いはずです。しかしその一方で、心理学研究と保育実践の間に微妙な距離感を感じている人も実は少なくないのではないのでしょうか。

本特集では、保育と心理学について様々な視点・立場からその関係性を問い直してみたいと思います。「心理学を勉強してもなかなか保育実践に活かせない」「保育学と心理学はそもそも違う」で終わらせず、保育において心理学がどのように貢献できるのかや、保育現場から心理学は何を学べるのかを考えていきます。両者がお互いに学び合い、発展するためには何を認識しておくことが大切なのかを考える機会になればと願っています。

(旦 直子)